

NO. /

~~未記入~~

(10)日本特許庁 (JP)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-25802

(13)公開日 平成6年(1994)4月8日

(S1)Int.Cl.

G 02 B 5/00

G 02 F 1/1335

識別記号

3 3 1

5 3 0

序内整理番号

6220-2K

7408-2K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数3(全3頁)

(21)出願番号

実開平4-61246

(71)出願人

80000125

株式会社コバル

東京都板橋区志村2丁目16番20号

(72)考案者

吉川 幸雄

東京都板橋区志村2丁目16番20号

株式会

社コバル内

(72)考案者

中村 雄和

東京都板橋区志村2丁目16番20号

株式会

社コバル内

(74)代理人

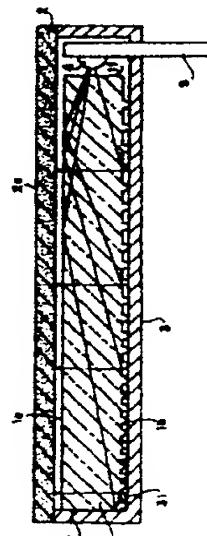
井理士 大塚 康輔 (外1名)

(54)【考案の名称】面発光装置

(57)【要約】

【目的】均一な明るさの面発光装置を提供する。

【構成】LED 4から発した光は導光板1に入射される。導光板1内に入射された光は上面1aや底面1bで全反射され、あるいは反射棒3で反射されて凸部3-1に当たる。凸部3-1は底面と共に成型されており、漏斗形状をしている。凸部3-1に当たった光は反射されて上面1aから出射し、拡散板2で拡散されて対象物を照らしだす。



【実用新案登録申請の範囲】

【請求項1】 発光面の側方に配置された光源からの光を前記発光面から出射する面発光装置であって、発光面と対向する底面部に、微小な凸部で形成した反射形状部を、その密度が前記光源からの距離に応じて増加するように配置した透明な導光板を備え、前記光源から入射された光を前記反射形状部により反射して前記発光面から出射することを特徴とする面発光装置。

【請求項2】 前記反射形状部は、前記光源から遠ざかる向きについて千鳥格子状に配設することを特徴とする請求項1項記載の面発光装置。

【請求項3】 前記反射形状部はその頭から底面部に連なる連続部を曲面で形成した微小な凸部であることを特徴とする請求項1項記載の面発光装置。

* 本件とする請求項1項記載の面発光装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の実施例である面発光装置の断面図である。

【図2】 面発光装置の上面図である。

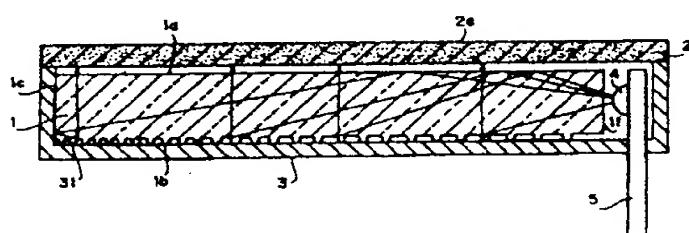
【図3】 导光板の底面の拡大図である。

【符号の説明】

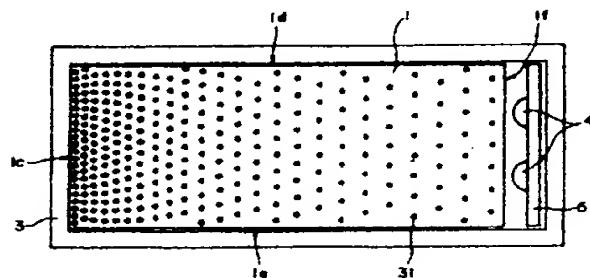
- 1 発光板
- 2 狹幅板
- 3 反射体
- 4 光源
- 5 凸部

3.1 凸部である。

【図1】



【図2】



(3)

実測平8-26802

【圖3】-

